



企業のスリム化とシンプル化、実用性における新しい現実

令和6年4月20日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

人員の大幅な削減は、全ての産業において新しい企業システムへの移行と生産インフラの転換において、高い生産性や効率性ととともに、新しい企業現実の構築を実現できる。

これらは、新しい時代における現実と基準であり、それらがより優れた現実を有することからこれらが新しい未来におけるスタンダードになることは疑いを得ない。

これら企業のスリム化とシンプル化は、新しい企業運営と生産基盤において、新たな企業の飛躍を可能とできるのである。

また、ITシステムはビックデータにおける市場変化の認識や顧客購買嗜好のデータ化など、企業経営への適切な判断を実現でき、ITシステムにおける自動化などとともに、新しい企業効率性への転換を実現できるのである。

これらは全ての非採算性や非効率性を排除した、企業の大幅なスリム化であり、これらがより優れた企業体質への転換を可能とできるのである。

これらはインダストリー4.0における生産の自動化などとともに、企業はより優れた利益体質への転換を実現できるのである。

これらは全ての既存産業が、新しい自己基準や環境へ転換することで、新たな機会の創出を実現できることを意味する。

これらが現状における新たな企業の利益基準と現実であることは真実なのである。それら環境はより優れた利益構築を与えるものなのである。

これらは他方において、自己製品の機能性が、新しい技術進歩を基盤としたその実用性を提案することで、企業が飛躍的な可能性の拡大を実現できるのである。

これらは企業経営における新しい判断と基準として、現実への理解とその新しいコンセンサスの育成における未来という現実への参加の提案である。

